



3・4年生の算数の授業で行われるそろばん。ボランティアの人数も多いため一人一人丁寧に習うことができます。



登下校時に子どもたちの安全を見守る「安全見守りボランティア」。自然とあいさつも行われている。

### 他にも色々なボランティアが町内の小学校で行われています

傾聴、毛筆、硬筆、そろばん、丸つけ、ソーイング、むかしあそび、水泳、クッキング、ダンス、米づくり、被災地ボランティアの話、「命」の授業、すもうの話、戦争体験、地域調べ、豊かな日本語、合唱指導、花・野菜植え、生け花、すもう、水泳、ダンス、器楽部、茶道クラブ、安全見守り、歯みがき

### 子どもたちはみなさんのチカラを待っています！

今後、文部科学省はコミュニティ・スクールの数を平成28年度までに全公立小中学校の1割(約3,000校)に拡大することを目標に掲げています。広がりを見せるコミュニティ・スクール事業の成立には、学校の先生と地域の人たちの協力が必要です。今回、学校支援ボランティアのみなさんから「どんな簡単なことでもやってみれば、学校や子どもたちの力になれる」と教えられました。子どもたちはみなさんが持っている知恵や技術、経験、そして笑顔を待っています。気軽に参加してみませんか？

町教育委員会 学校教育課 ☎ 286-3307  
// 生涯学習課 ☎ 286-3337



## 子どもたちの挑戦する姿に“感動”

学校や地域の行事は近所のおじちゃんおばちゃんたちが縁の下の力持ちを買って出て成り立つものです。今まさに「自分の番」が来たと思って、その役割を担っています。6年前からボランティアで学校に行っていますが、子どもの成長には驚かされます。できないことに一生懸命挑戦して、それができた時、涙が出るほど感動しました。



さいとう 隆幸 さん  
(下寺中灰塚)

一生懸命挑戦して、それができた時、涙が出るほど感動しました。

一生涯を仕事一筋で終えるのではなく、自分が人生を通して経験したこと、学んだことを地域の子供たちに伝えてあげたい、そんな思いで始めたボランティアは、今では私の生きがいですね。



## 学校支援で生活に張りが出ました

勤めていた頃の後輩から誘われて支援ボランティアをするようになり、半年が経ちました。ボランティアで、という感じではなく「家で暇しているよりいいな」という気分で参加し、それが少しでも役に立つのであればと思っています。



やまぐち のりお  
山口 紀生 さん  
(惣領3町内)

全員が個性的でパワーあふれる子どもたちを見ているともものすごく元気をもらえます。それに、先生やボランティアの人たちなど、知り合いが増えて生活にも張りが出るようにもなりました。

自分ができる時に、できる範囲で「地域の応援団」をしていきたいと思っています。